

皇工會報

第 3 号
平成 7 年 6 月 23 日
発行 日 立 工 業 高 校 同 窓 会
発 行 者 日 立 工 業 高 校 同 窓 会 事 務 局
日 立 市 城 南 町 2-12-1
☎ 0294 (22) 1 0 4 9

会長の挨拶

会長 小林 啓一



会長に就任して早や2年が過ぎましたが、皇工会の運営につきましては小野崎副会長を初め役員の方のご協力を得て、これまでのところ順調に進んでいることを先ずご報告申し上げます。また、各支部においても支部長さんを中心に充実した活動をしておられると聞き、喜びに耐えません。

昨年7月末に、前号ですで紹介済みの新実習棟が完成しました。特に5階の多目的ホールは200人収容できるもので、総会など同窓会行事で大いに使用したいものです。

基金運営委員会につきましては、委員の皆さんに度々ご足労をかけ

ました。昨年、全日制サッカー部がインターハイ全国大会に、定時制陸上・剣道・柔道の各部から計4名の選手が全国定通体育大会に、また今年度に入って全日制サッカー部が関東大会に出場しましたが、夫々に対し一定の補助金を出しております。体育・文化部共に在校生の一層の活躍を期待します。その他、部活動用バス更新等については総会時に報告の上、ご了承を得たいと思っております。

去る3月、全定212名の卒業生が母校を巣立ち、大方が社会人となりました。そして今、極めて厳しい進路状況に真剣に立ち向っている3年生。どうか先輩の皆さん、夫々の立場でできる限りのご指導ご援助を賜わるようお願いいたします。

先生方も多くの転出入がりましたが、ここでは、退職された高村教頭先生の本会事務局長としての労苦に対し謝意を表します。

最後に、先日突然亡くなられた萩野谷勝美先生のご冥福をお祈り

します。

新任の挨拶

学校長 小祝 正盛



この四月、黒澤博美校長が、水戸工業高等学校に御栄転なされ、後任としまして、本校へ赴任致しました。

県下でも有数の永い歴史と伝統をもつ本校で、皆様の後輩の教育に携わることができまことをたいへん誇りに思っております。また地元日立市はもとより、広く、全国、さらには海外において、それぞれの道で御活躍なされている九十有余名の卒業生の皆様に心より敬意を表する次第です。

母校は、今年で創立五十三年目を迎えました。今春、全日制百八十一名、定時制三十三名、計二百十四名の新入生を迎え、現在、全日制は機械・電気・情報電子・工業化学の四学科に五百七十名、定時制機械科に七十四名、計六百四十四名（うち女子二十七名）の生徒が、勉学に部活動に励げんでお

ります。教職員も総数八十五名おります。

科学技術の進展、さらに情報化・国際化など社会情勢の変化に対応すべく本校も学校の活性化にとめております。平成五年度より進めてまいりました電気科クラスを情報電子科にする学科改編も今年度で完了しました。これに伴ない五階建の新実習棟も昨年完成致しました。男女必修に伴なう家庭科実習室、課題研究などに幅広く活用できる多目的ホールも備え、新技術、先端技術の学習のための機器も特別予算で導入され、充実した授業が出来るものと確信しております。

また入試制度改善の一環として、今年度の入試より推薦入学を取り入れました。生徒数の減少、普通科志向と相まって、本校への志願者数も減少傾向にあります。目的意識を持った生徒が一人でも多く入学できるようこの制度を活用して行きたいと考えております。進路状況も、就職「冬の時代」と言われており、今年も大変厳しい状況にあります。進路指導部の先生方を中心としまして、県内の主な企業訪問を実施したところで

す。本校の実績から考えますと、昨